

飛鳥資料館のみどころ（５）

- 特設コーナー「キトラ古墳壁画」の新設 -

この度、飛鳥資料館では、キトラ古墳の最新の調査成果を紹介するコーナーを、地階特別展示室の隣に新設いたしました。

今年に入り、キトラ古墳の調査が進むにつれて、壁画の詳細が明らかになってきました。と同時に、その成果の公開も望まれるようになってきました。

当資料館では、文化庁の協力を得て、新聞紙上などに提供された情報をいち早く皆様にご覧いただけるように、今回の展示を企画いたしました。

現在は、先に新聞紙上を賑わせた、十二支の寅



像や青龍の赤外線デジタル写真を中心に、その関連資料として、中国・唐代の俑（土製人形）や朝鮮半島の統一新羅の蠟石十二支像などの写真パネルを展示しています。その他、以前、当資料館で公開した朱雀や白虎、天文図なども同時に展示していますので、キトラ古墳壁画全般における最新の写真を見ることができます。

また、今後、発表された新しい情報を適宜、展示替えをおこないながら、提供していきたいと思っておりますので、今回は特に期間を設けずに、当面の間、公開していきたいと思っております。

新聞やテレビのニュースなどでしかご覧いただけなかった、キトラ古墳壁画の世界を堪能してみたいはいかがでしょうか。

皆様のご来館を心よりお待ちしております。

（飛鳥資料館 西山和宏）

記 録

埋蔵文化財センター研修

報告書作成課程専門研修	
平成16年1月14日～ 1月23日	29名
城郭遺跡調査課程専門研修	
平成16年1月28日～ 2月 4日	33名
自然科学的年代決定法課程特別研修	
平成16年2月17日～ 2月20日	11名
陶磁器調査課程特別研修	
平成16年2月24日～ 2月27日	40名
動物考古学課程特別研修	
平成16年3月 2日～ 3月 5日	11名
写真基礎課程専門研修	
平成16年5月11日～ 5月21日	14名
保存科学課程専門研修	
平成16年5月27日～ 6月 9日	12名

現地説明会

飛鳥藤原第132次（藤原宮朝堂院東第三堂）発掘調査	
平成16年3月20日（土）午後1時30分～	
平城第370次（平城宮東区朝集殿院）発掘調査	
平成16年6月 5日（土）午後1時30分～	

講演会：NPO平城宮跡サポートネットワーク主催
奈良文化財研究所後援

平成16年5月17日（月）午後3時～

田中 琢 元奈良国立文化財研究所長
「発掘調査と平城宮跡」

公開講演会

平成16年5月29日（土）午後1時30分～
町田 章 所長

「考古学よもやま話 - 日本における土着文化
と外来文化 - 」

島田敏男 平城宮跡発掘調査部遺構調査室長
「平城宮の瓦屋根」

吉川 聡 文化遺産研究部研究員
「北浦定政と平城京研究」

最近の本一所員の編著から一

井上和人著『古代都城制条里制の実証的研究』
学生社

山崎信二著『古代瓦と横穴式石室の研究』
同成社

小野健吉著『岩波日本庭園辞典』 岩波書店

編集 「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.jp>

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2004年6月